

こんにちは。医学部栄養学科3年の佐藤優里です。TUGリンクス e・アクト、JASP 徳島、蔵本柔道部に所属しています。徳島県の脇町高校出身ですが、中学3年生まで宮城県の気仙沼市に住んでいました。今回、私の大学生生活について紹介しようと思います。

3年生になり、授業は専門科目ばかり。蔵本キャンパスで1限目から授業が始まり午後は実験や実習がほとんどです。3年生の勉強は1・2年生で学んだ知識の積み重ねで広い知識が必要で、レポートなどの課題も多く、日々追われています。執筆しているのは7月のため、今は毎週土日に阿波踊りをしていきます。栄養学科には伝統の「栄養学連」があり、学生連には珍しく女踊りもあります。3年生は幹部学年で、運営を行ったり、下級生へ指導します。今年は、枚敷だけでなく舞台での演出も新たに練習しています。今は阿波踊りで頭がいっぱいです(笑)この他に部活があったり、週に一度、常三島キャンパスでe・アクトのミーティング、スカイプで行われるJASPの全国ミーティング、バイトをしています。時間にあまり余裕はありませんが、毎日充実していて楽しくすごせています。



医学部 栄養学科 3年
佐藤 優里 (さとう ゆり)

My Life Situation



ニックネーム: ぶげ
サークル: 蔵本柔道部
バイト: 研究室の手伝い、試食販売
好きなもの: GReeeeN, moumoon, 微生物

JASP(全国学生プロジェクト)は福島大学の学生が、震災から立ち上がり「学生の繋がりとパワーで未来を創る」ことをコンセプトに立ち上げ、日本全体が明るく元気になるように全国の仲間と共に活動しています。そこで今年の春に全国でタスキリレーを行います。



e・アクトのミーティングの様子

3月11日に福島でゴールしました。タスキとともに次々と笑顔や想いが繋がって全国で連鎖していく様子にわくわくし、見ていて笑顔になりました。JASPで人と人との繋がりのすごさを実感し、これが自分の中で大ききつかけとなりました。たくさん

の人と繋がるとその分だけ大きな連鎖が生まれ、繋がりが繋がって機会を運んでくれるなど、可能性も広がってくれることに気づかされました。それから、まだまだ自分ができていることがあつた気がしてアクティブになりました。そして4月から学生ワーキンググループ「TUGリンクス」の教育改善チーム「e・アクト」で活動しています。TUGリンクスは、充実した学びやキャンパスライフの実現のための活動をしています。e・

アクトでは今年4月の履修相談会を開きました。学外研修ではワークショップなどを通して他大学の学生や教職員と交流して大学・学び等について話したりします。私は、せっかくなら徳大に来てよかったとより多くの学生に思っています。多くのでこの活動をしています。多くの学生が、勉強はもちろんのこと多くのことについて、楽しく前向きに、わくわくしながら学べれば良いなあと思っています。

とにかく大学生活が楽しいです。勉強も友達と一緒にお互いに教えたり、疑問をぶつけあって納得のいく答えが出るまで話し、答えを見つけて感動して楽しみながらしています。阿波踊りも本番のみならず笑顔で生き生きとしている空間を思い浮かべながら練習しています。今年から始めたTUGリンクスでの活動やJASPでの活動では予想以上に多くの出会いがあり、多くの人と繋がりが、その分様々な視点に触れ、たくさん刺激をもらい新しい価値観もできました。何より全国で友達が増えた事が嬉しいです。まだまだ気づけていない楽しみもあると思います。せっかくなら徳大に来たので、今ある環境や機会を精一杯活かして楽しんで過ごそうと思います。



学生・職員相談室の「これまで」と「これから」

学生・職員相談室は、学内のメンタルヘルスケアの一部門であり、学生生活上の困ったことや悩み、職場での問題等の相談ができる場所です。現在は、専任カウンセラー2名とインテークカー1名が常三島の相談室に常駐しており、相談内容に応じて、兼任のカウンセラーや法律アドバイザー等にも相談ができます。

相談室の変遷

学生相談室は平成11年9月に開室されました。当初は専任カウンセラーがおらず、平成13年から1名の専任カウンセラーが配置されました。ついで、職員相談室が平成13年9月に開室し、平成16年から1名の専任のカウンセラーが着

任し、現在の学生・職員相談室の骨格ができました。専任カウンセラーの増加に伴い、相談を受けられるキャパシティが増えたこともあり、相談件数等は年々上昇し、ここ数年の来室者数は年間1900名前後で高止まりしています。

現状における難点

相談件数等の増加と専任カウンセラーが2名という現状のため、最近の利用者が相談したいときに来てもすぐには相談できず、数日先の予約を取らないといけない状況になっており、蔵本の相談室に關しては、開室時間が火曜日の午後のみとなっています。理想的には、二つのキャンパス

にある相談室が同じ開室時間となり、相談したいときに相談室に行けば対応できるカウンセラーが待っているという状況が望ましいのですが、それは今後の、また長年の、相談室の課題となっています。

蔵本分室がリニューアル

こうした状況の改善の一步として、蔵本の相談室は、この夏から改修され、平成25年4月にリニューアルオープンします。それに伴い相談できる個室が増えるので、これまで以上に利用者の要望に添った相談時間が組めるようになります。蔵本の相談室のリニューアルによって、常駐スタッフを配置でき

る空間が確保され、常三島も含まれた相談室のハード面はほぼ完成をします。

これからの相談室

今後は慢性的な予約待ちの状態を改善するためにも、専任スタッフの増員も念頭に置き、相談したいときにいつでも相談できる体制を整え、よりよい相談室にしていきたいと思っておりますので、ご要望等ありましたら、いつでも相談室のスタッフまで声をかけていただければと思います。

職員相談室 助教
赤坂 和哉 (あかさかかずや)

学生・職員相談室 利用案内

ご利用は、直接来室されるか、電話またはメールでお申し込みください。
TEL:088-656-7637
E-mail:gkseisod@tokushima-u.ac.jp
常三島キャンパス(共通教育5号館1階西側)
利用時間:月~金 9:30~17:30
蔵本キャンパス(蔵本会館2階)
利用時間:火 13:30~17:30
*事前に予約をすれば火曜日午後以外も相談可能です。